



ひろしま農振

NEWS

第7号

H8 7/1

【財団法人 広島市農業振興センター

〒739-17 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
TEL (082) 845-4770
FAX (082) 842-2149

“ひろしまそだち”はまかせんさい 各地域でがんばる女性農業者



谷口タケ子さん
安佐北区安佐町鈴張
6アールのピーマンの栽培と和牛3頭を飼育



竹広和子さん
安佐北区可部町今井田
葉ネギを中心にビニールハウス9アールで軟弱小物野菜を栽培



井上昌子さんと恵さん
安佐北区白木町志路
繁殖牛10頭、肥育牛24頭を飼育し、黒毛和牛の繁殖から肥育までの一貫経営



徳田美智恵さん
安佐南区沼田町阿戸
戸山っ娘グループの一員として、コマツナ入りのケーキやニンジン入りのクッキー、柿の葉茶などの加工品を直売



下谷邦代さん
安佐北区狩留家
第1期広島市女性農業者
電照冬切ダリアをビニールハウス12アールで栽培



山根淳子さんと奈岐佐さん
安佐南区沼田町吉山
15頭の乳牛を飼育、毎日新鮮牛乳を出荷



升本陽子さん
安佐南区川内
ナス、トマト等の果菜類と漬物用広島菜の契約栽培



山本雅子さん
東区馬木
第1期広島市女性農業者
産地直売用野菜栽培やパセリふりかけなど農産物の加工販売



小堀千羽重さん
安佐南区山本
アネモネ、スターチス等の切り花栽培、JA広島市山本支店で直売



川本澄子さん(右)：佐伯区五日市町上小深川
松見カズ子さん(左)：佐伯区五日市町上河内
アルストロメリアやシントウなどを各人4アールのビニールハウスで栽培



岩崎綾子さん
安芸区上瀬野
第1期広島市女性農業者
おいしい米づくりを中心に、農家の若妻グループを育成指導



竹内清美さんと夫の照浩さん
西区南観音
特産の「観音ネギ」を90アール栽培する農業後継者夫妻

平成8年度新規事業の紹介

一広島市の将来の農業を担う、担い手を積極的に育成するため、今年度から次の新規事業に取り組んでいきます。一

◎“ひろしま活力農業”経営者育成事業

広島市では、農業従事者の高齢化が進み、将来の農業を担う若い農業経営者を育成することが急務となっています。この事業は、新たに実地研修や経営初期の支援、あるいは優良農地の集積を通じて若い農業経営者を積極的に育成しようとするものです。今年度は、この事業を実施するために必要な農地保有合理化法人の資格を当センターが取得し、農地の集積化や貸借、実地研修を行うための準備を進めます。

◎広島市農業経営改善支援センター事業

当センター内に、意欲と能力のあるプロの農業経営者を支援する「認定農業者制度」を推進するため、広島市農業経営改善支援センターを設置しました。

農業経営改善支援センターでは、県、市、農業委員会、農業協同組合などの協力を基に、意欲ある農業者が、農業経営改善計画を作成し、その計画を達成するまでの相談支援活動を行っていきます。お気軽にご相談下さい。



広島市第1号の認定農業者 中川和義さん (安佐北区白木町)

魅力あるまちづくりの推進

一安佐北区白木町下三田地区一



工事が進む下三田福永工区(ほ場整備・市民農園整備等)

新しい住居が急速に増えつつある下三田地区では、地域に農地と住宅地等が共存できるように計画的な土地利用を推進し、いきいきとした農業のある住みよい地域づくりのため、広島市で初めての農村活性化住環境整備事業に地域をあげて取り組んでおられます。

この事業では、ほ場整備をはじめ、集落間農道の整備、市民農園の整備、農村公園の整備、住宅団地の造成等が予定されています。

まちづくり代表の東富正会長(写真)は、「下三田地区の将来を展望し、魅力あるまちづくりを皆んなの力で進めていきたい」と話しておられました。

集落排水処理施設が完成

一安佐北区安佐町小河内地区一



完成した小河内地区農業集落排水処理施設

私たちの地区は、小河内川の清流と美しい緑に恵まれた農村地域ですが、近年生活様式の変化に伴い、河川の汚染が進み、環境が悪化する傾向にあります。

こうしたことから地域住民の強い要望に基づき、「住みよい地域づくり」を目的として、平成2年に実行委員会を設立し、農業集落排水事業の推進に取り組んできました。

関係機関および地域住民の、深いご理解とご協力により、工事は当初計画よりも早く進み、汚水処理施設が完成し落成式を迎えることができました。平成8年6月より待ちどおしかった水洗化が可能となり、より一層生活環境が改善され、また美しい自然や農村景観が維持されることにより、地域の活性化に寄与することが期待されます。

この事業を推進するにあたり、ご支援ご協力いただきました関係各位に感謝を申し上げます。

＝小河内地区農業集落排水処理施設管理組合 組合長 渡辺眞作さん(写真)からの寄稿＝



ひろしまそだち

当センターは、「やりがいのある農業」の展開のため、生産者の皆さんをはじめ、JA・県普及センター・区役所等関係機関と一体となって、ひろしまそだちの特産化を推進しています。



ナスの実証展示ほ



J A広島市白木野菜集出荷場と葉ネギの選別作業

信頼性の向上のために

消費者から信頼され納得した価格で買ってもらえるよう、減農薬栽培や朝採り出荷、おいしさなど特徴ある産品を保証するために作り方等の基準を設けます。

今年度は、トマト・キュウリ・ナス・アスパラガスの減農薬栽培についての基準を作成する予定です。

また、地場産のもつよいイメージをPRします。



小売店でひろしまそだちのPR



ひろしまそだち直売所

特産づくりのために

安全・健康・おいしさ・新鮮など特徴の出せる項目について技術開発を行い特産づくりを推進しています。また、この特徴ある産品の生産拡大を図るため生産施設・器具等の設置を推進しています。



'96 フードフェスタ

有利に販売するために

量販店・小売店・飲食店等において、ひろしまそだち産品の知名度を高める活動に取り組んでいます。

また、生産者自ら値段をつけ、売ることで直売所の設置を推進しています。

新しい技術開発を目指して

当センターでは、ダリアの新品種の開発に取り組んでいます。

今年3月、国の放射線育種場に依頼して当センターのバイテク苗に放射線を照射してもらいました。新品種として農家の皆さんに栽培してもらえるような優良な花が出現することを期待して10月の開花をまっています。

ひろしまそだち特産化を目指して当センター本場で栽培試験を行います。

		(収穫期)
茶マメ	枝豆として品種と、は種期の試験	8月
長ナス	有機減農薬栽培試験	8月～10月
ニンジン	高カロチン品種比較試験	11月
ナツメクサ	低シュウ酸栽培試験	12月

※栽培の状況をぜひご覧下さい。

農業振興センターの組織が次のように改正されました（平成8年4月1日）

—今後ともよろしくお願ひします—

（主な業務）



TOPICS トピックス

畜産

養鶏鶏卵センター完成

新しく、JA広島市養鶏鶏卵センター（安佐北区小河原町）が、5月20日に完成しました。総事業費は、2億2千万円で、洗卵、選別から包装まで完全に自動化され、1時間あたりの処理量が従来の3万個から4万個に増え、作業時間や経費の大幅な改善が見込まれています。



処理量が増えた鶏卵センター

スーパーカウ誕生続々と

安佐北区安佐町の酪農家渡辺和裕さん（37歳）方で、2月18日に広島市初のスーパーカウの二世が誕生し、元気に育っています。昨年の6月に当センターの獣医師が受精卵を移植したものです。現在、他の酪農家でも7頭の受胎が確認されています。スーパーカウは、搾乳量が通常の2倍で、乳質も優れていることから、渡辺さんは2年後の搾乳開始の日を今から楽しみにしています。



スーパーカウ二世

花みどり公園

花木コンテナ栽培試験

花みどり公園では、コンテナ（容器）による花木生産技術開発のための調査や試験を行っています。

花木の生産は、露地栽培であることから掘り取り、根巻きなど重労働であることに加え、市場出荷期間に限られるなど多くの課題を抱えています。こうしたことを改善するため、省力化が図られ、周年出荷が容易なコンテナによる栽培試験を行っています。



コンテナによる栽培試験